

令和6年3月15日

# 広報広聴委員会

阿久根市議会



1 会議名 広報広聴委員会

2 日時 令和6年3月15日(金)

午前11時11分開会

午後0時44分散会

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

川原 慎一 委員長、白石 純一 副委員長、高崎 良二 委員、  
大野 雅子 委員、川畑 二美 委員、竹原 信一 委員

5 事務局職員

議事係主任 松林 俊介

6 会議に付した事件

(1) 議員と語る会について

(2) 議会だより224号について

7 議事の経過概要 別紙のとおり



## 審査の経過概要

### 川原慎一委員長

ただいまから広報広聴委員会を開会いたします。

本日は、議会だより作成議案についてと議案議員と語る会についての2件を議題といたします。

## ○ 議員と語る会について

### 川原慎一委員長

それでは、議員と語る会についてでございます。

2月15日と2月17日に行いましたが、2月15日の大川会場と脇本会場、そして2月17日の風テラスでの部分について、記録係、川畑委員と大野委員から御報告をお願いいたします。

### 大野雅子委員

それでは、令和6年2月15日、脇本地区公民館での議員と語る会の記録を報告いたします。

日時は2月の15日ですね、開始が7時から終了が8時半。

出席議員が白石議員、高崎議員、大野議員、渡辺議員、牟田議員、山田議員、仮屋園議長ですね。

議員以外の出席者数が約20名、最初に議長の挨拶がありまして、そのあと議員の挨拶がありました。

そのあと、テーマ1あなたに、あなたが思う10年～20年後の阿久根のあるべき姿、ということで、この内容はちょっとお話ししたほうがよろしいですか。それとも。

〔発言する者あり〕

### 川原慎一委員長

一応、主だったものをお話ください。

### 大野雅子委員

はい、分かりました。

じゃあちょっと、あれします。

そうですね。

### 川原慎一委員長

重複するのはいいですので。

### 大野雅子委員

はい。10年後～20年後というのを7名ぐらいの方がお話してくださいました。

その中で、人口が増えないっていう限定ではなくて、どう増えればいいかっていうのを考えていくべきだとか、移動が大変で交通手段、ふれあいバスがあるといいなというのだったりとか、買い物に行く老人、あと接触事故があつたり、買い物に行けなくても届けてもらえる手段はないだろうかとか、鶴翔高校の受験生も少ないが若い人の力が必要なんじゃないかと、阿久根高校の跡地の活用を考えると、専門学校とか誘致できないだろうかという意見が出ました。

空き家、老朽化がたくさんあると、壊すことなんかできないところがあると、でも私た

ちの時代で何とかこれをきれいに一旦整理する必要があるんじゃないか、阿久根は山があつたり川があつたり海があつたり、いいものがたくさんあると。今、あるものに目を向けていくべきじゃないだろうか。そうすると、若い人が集まってくるんじゃないかという意見がありました。

それとか、面白いのがですね、阿久根市は花粉症が少ないんじゃないだろうかという意見があつて、そういう方が西から花粉が来るので、それを調べてみて阿久根は花粉が少ないまちで売り出したらどうだとか、それから、歴史的遺産、そういうのを、文化財を活用した観光を考えてみたらどうだろうか。

そして、この間のダンスの子供をする子たちに鏡が欲しいですというような意見がありましたね。

そして、次がテーマ2の困り暮らしの困り事ということで、大体、こちらも10名ぐらいですね、意見が出ました。10名、10何名です。ごめんなさい。

そこで出たのは、やっぱりタクシーチケットが脇本とか阿久根では同じ300円では違いが、地域格差を感じているという意見だったりとか、私の自分の住んでいるところのネット環境が悪くて災害時に怖いんじゃないだろうか、電波が入らないということは、連絡がつかないので心配だというのがあつたり、道路の生け垣の狭いところに雑草が出てきてるのを、その家の人に言えないので行政のほうの力で何とかしてもらえないですかという意見があつたり、長島に行く道路の崖がすごく怖いという意見があつたりですね。

あと、市立図書館の駐車場がないので危険で駐車場が欲しいという意見でした。

あと、こういう会を、女性と語る会、市長と女性と語る会っていうのをしてほしいと、なかなか声が上げられないので、そういう会もできればいいなあという意見がありました。

あと、質問で阿久根市の図書館の計画はどうなってますかっていうのを聞かれました。それとか、学習室が欲しいなという意見がありました。

阿久根のキャッチフレーズで帰ってきたくなる、行ってみたくなる、東シナ海の宝のまちあくね。これは皆さん議員もどういふふうに取り組んでいますかと、そういう姿が余りよく見えないんですけど、どういふことですかという質問がありました。

あと、学校の統廃合はどうなってますかっていう意見が出ました。

それからあとですね、番所丘のキャンプ場について、ブームが過ぎ去っているんじゃないだろうかという意見がありました。

あとですね、番所丘の話が出た、今度は潟地区の人たちの低いところのあそこに地面が緩いはずだがあそこの人たちの避難場所はどこになつてるんですかって、番所丘じゃないんですかっていう話に番所丘の話からなつてきました。

阿久根高校とかは避難場所に適してるんじゃないだろうか、全然話は別ですけど避難の話から、阿久根高校のような高いところが避難場所は適してるんじゃないですかねっていう話が出ました。

そして、最後にキャンプ場で誰をターゲットにするかすごく問題で、キャンピングカーも人気だと、あと、インバウンドで人を呼び外国人を呼ぶ施設にするとか、そういうのも考えていけばいいんじゃないだろうかという話で、大体、1時間半が終わりました。

#### 川原慎一委員長

ありがとうございます。

それでは川畑委員。

## 川畑二美委員

私は大川小学校でした。

出席者は、川原議員、竹之内議員、私、竹原、大田、木下、瀨田の7名の方が参加されました。

一応テーマ一つ、あなたの思う10年～20年後の阿久根市にあるべき姿が、1点目、もうまとめました。

阿久根高校跡地や学校跡地に介護施設が欲しいが、そして二つ目は、人口を増やすことを考えてほしい、そして、若い人たちが結婚して安心して暮らせるようにしてほしい、阿久根市の観光を発展させてほしい、青果市場などを考えて欲しいってUターンやIターンでやる気のある人を阿久根市に呼び込むために真剣に考えてほしい。

ゴルフ場建設予定地に工場などを誘致してほしい、ボランティアで阿久根市をきれいにしてほしい、合宿施設や宿泊施設が少ない、阿久根市に泊まれるようになっていうこと、そして阿久根市に何か見るところはないかと言われるが観光施設に力を入れてほしい。

これが一つのテーマで、次、テーマの2、くらしの困り事では、大川と川内原発は直線距離で11キロしかない、原発交付金が避難道路などのインフラ整備に使ってほしい、高齢者が自動車免許の返納した後の交通手段を議員は考えてほしい、尻無の古くなった消防施設が危険な状態、行政のほうで何とかできないか、地域を回ってみれば狭い道路が多いのは誰でも気づく、原発交付金を使って道路改修工事をしてほしい、危険な道路にスピード落とせるという表示をしてほしい、空き家対策をしてほしい、議会で一般質問する人は決まっている、高齢者ばかりに気を使い過ぎ、少子高齢化などだから若者にお金を使ってほしい。

議員への意見や要望では、議員報酬4万円アップひどい、3万円しか年金がない人もいる、誰からも反対の議員がいなかった、各地区に議員がいるのだから日常的に懇談して、議員のいない校区で意見交換をしたらいい、今後も報告会をやってほしい、議員と語る会を1年に1回だけでなく、3～4回やったらいい、市民は市政に対して意見がある、細かく議員と語る会をやってし、2時間半の議員の語る会ではなく、朝まで酒を飲み交わし、阿久根の将来をどうしようと話し合いたい。

また10年～20年先のことは中学校、高校生の意見を聞いてほしい、議員の活動の様子をポスターなどコンビニに張って見える化する議会改革を望みたい、陳情は、不採決した理由を知りたい、おれんじ鉄道の牛ノ浜駅について、トイレが汚い、お客様が見たら恥ずかしい、周辺の草刈りなどもできていない、阿久根市の観光地はどこにあるのか、太陽光パネルは景観が悪く車も駐車しにくい、議会はなぜ許すのか、空き家の活用で何がいい方法はないか、議会で考えてほしいというのが大川でした。

次、もう大野議員と2人で話し合っ、風テラスは私のほうでまとめさせていただきます。

## 川原慎一委員長

はい、どうぞ。

## 川畑二美委員

2月15日、17日、土曜日、6時からということで、全員の方の出席で、内容としては、テーマ、あなたが思う10年～20年後の阿久根のあるべき姿は、一つ目は阿久根市で働く人は、出水、野田、高尾野がほとんど。出水、高尾野に転居する若者が多く、人口が増える

はずがない。阿久根の未来はない、出水郡阿久根村にすべきだ。1990年～2010年頃の阿久根市が理想、その頃と比較すると悪化している、結婚前の若者への支援ができないか、海をしっかりと生かしてほしい、箱物をつくって新しいごみをつくらせないでほしい、阿久根市の土地に若い世代を誘致してほしい、20代、30代の方は、住宅をつくって20年、30年たったただにするぐらいの思い切ったことが必要、働き口を増やしてほしい、子供の医療費を無料化にしてほしい、地域だけで解決できないことが多い、広域的な取組が必要ではないか、独居老人と子育て中のシングルマザーと一緒に住ませるなどと公共施設があったらいいのではないか、市場の後に屋台村をつくってほしい、阿久根市に産婦人科がない、阿久根市に帰ってきたいと思っても帰ってこれない、医師会病院に産婦人科をつくってほしい、川内原発の原発交付金が1億9000万円、令和4年度には7億7000万円あった。原発の交付金を増やしてほしい、薩摩川内市は16億円あった。

次、テーマ2、暮らしの困り事では、原発事故が起こったらどうしたらいいのか分からない、議員は、現場に来て避難経路などを教えてください、地震津波が来たら誰がそこへ誘導してくれるのだろうか、全議員が避難するところを全部知らないといけないのではないか、家の周りに猫がいっぱいいる。糞の被害もあって不衛生。出水市では猫を捕獲するボランティアがいる。阿久根市でもどうにかしてほしい。議員が陳情採択している周知していきたい。通学路にイノシシやサルが出てくる子供たちが危ない。空き家がいっぱいある空き家があることを広報してほしい。人口が増える長島に比べて企画力がない。発信力をつけてほしい。困り事を受付してくれる窓口が欲しい。

次、議会への意見要望では、阿久根市の世帯は9,000世帯などに集まったのは70人、議員の人气がないからだ。阿久根で働く人は出水、野田、高尾野がほとんど、出水、高尾野、野田に転居する人が多く人口が増えるはずがない。阿久根市の未来はない。出水郡阿久根村にすべきだ。次、議員報酬を上げるぐらいなら人口増のために税金を使ってほしい。3万円の年金暮らし3万円では生活できない。なのに議員は4万円も議員報酬を上げ上げたのか。月に1回の市報を見るのが楽しみ。お笑いやピアニストのイベントがあった。どのぐらいの費用をかけかかったのか可視化してほしい。川内原発は阿久根市に近く事故が起きたら大変。市議会で川内原発20年運転延長。

次、議会への意見要望では、議員報酬4万アップはひどい。3万円しかない、年金がない人もいる。誰からも反対議員はいなかった。各校区に議員がいるのだから、日常的に懇談して議員のいない校区で意見交換会をしたらいい。今後も報告会を頻繁にやってほしい、議員と、議員とか。重なりましたね。

#### 川原慎一委員長

重なりましたね。

#### 川畑二美委員

そういう内容でした。はい、すいません、まだでした。えっと、すいません。

#### 川原慎一委員長

いいですよ、もう。

〔川畑二美委員「はい、いいですか」と呼ぶ〕

風テラスは全員参加していますので。

今、御報告いただいたものを私のほうでまとめまして、それぞれの議員の皆さん方にお届けするように、取りあえず全協で御報告をしたいと思いますので、まとめることに関し

では私のほうに一任していただいてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

全員にお渡しして、これはもう政策提案の資料として使っていただくようにですね、そこも全議員に周知して使っていただくような形をとっていきたいと考えます。

それで、令和6年度ですが、こういう会をやってほしいということでございます。基本条例の中にも1回は必ずするということにもなっておりますが、やっていきます。今回は地域の方々とのということでもやりました。

当然、地域の方々とのこういった会も必要でございますが、例えば、いきいきサロンであったり、阿久根市の区長会であったり、青年5団体ですね、JC、会議所青年部、アグリリスとか、そういった方々であったり、会議所の女性会であったり、市P連、子供会含めたそういった組織の長さん方。もっと若いほうでっていうと、二十歳のつどいで実行委員会組んでおりますので、そういった方々との意見交換会等も含めて、いろいろ考えていけばいいと思っておりますが、皆さん方の御意見としてどうですかね。

#### **大野雅子委員**

今、委員長がおっしゃったように、いろんな人たちとやっていく必要があると思います。今回、女性の声も拾ってくださいという話もありました。若い人たちの声も、今聞いた話の中でも、聞いていってくれということでしたので、細かくやるのっていうのはとても大事で、あんまり大きく、この間の風テラスのようにやっぱり大きくなると言えない人、どうしても出てくると思いますので、語りやすいところで語っていくというのはとてもいいんじゃないかなと思います。

#### **川畑二美委員**

私も、いろんな団体の方々、若い人、今言った二十歳のつどいの方とか、いきいきサロンとか、高齢者の方々とかですね、JCとかいろんな方とお話をするのは必要だと思います。はい、私も賛成の意見です。

#### **竹原信一委員**

今回のやつは、とにかく皆さんの意見を聞きましようぐらいの話で、実際、本当の意味では自由に市民及び議員が自由に情報、意見を交換する場というふうにはなっていないわけですね。

そういうことをしないと深まりというものがなくて、私たち自身もその、一般市民の方々とお話することによって考え方を深めていかないかん。現実の厳しさを日々感じないといかんと、そういう機会にするべきだし、私たちの考え違い、市民の皆さんの誤解、それをすり合わせる機会にならないかんわけですね。

そういう意味で、たくさんの人との話を聞けばいいということではなくて、しっかりと話合いができる場に変えていかないかんと思いますよ。

#### **大野雅子委員**

今の竹原委員のお話によって、たくさんの人に聞く必要はないというような意見を今言われたような気がするんですけども、そうじゃなくてやっぱり多くの人の意見を、いろんな意見を聞く必要、私はあると思います。

〔発言する者あり〕

#### **川畑二美委員**

私も今、竹原委員のお話を聞いて、深まることはそれ大事でしょうけど、たくさんの方

の意見は聞いて深まっていくことが必要だと思います。

ただ一部の方々の深まるのではなく、多くの、今は多様性の時代ですから、いろんな考え方があって、その中で意見を聞いて、そして深まっていてもいいのではないかと思います。

**川原慎一委員長**

暫時休憩します。

(休憩 午前11時30分～午前11時40分)

**川原慎一委員長**

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

いろんな御意見を頂戴いたしました。6年度以降のやり方については、また詰めていって、よりよいやり方でいろんな御意見を聞けるような形、また自分たちが発信できる形を含めて、皆さん方の御意見をいただきながら進めていきたいと思えます。

### ○ 議会だより224号について

**川原慎一委員長**

それでは、次、議会だよりについてでございます。

モアノートの広報広聴委員会に、これからの作成について、こちらで考えたことを、前回までの委員会含めですね、作成はこういった形で進めていければっていうことを一応つくっております。

まず、つくってはいるんですけど、皆さん方から御意見いただきたいのが、自分たちで100%つくる。まずそこです。

前回の委員会の中でも事務局を入れずにちょっとやっていこうよという御意見も出て、なりましたけども、決定ではございませんけども、そこを皆さん方の御意見をしっかり聞いてからやっていきたいなと思うんですが、いかがでしょう。

**竹原信一委員**

やりましょうよ。始めなきや始まらない。そして、結果も出ない。もうおんぶしちや駄目いつまでも。

**白石純一委員**

私も、基本は議員が自主的につくるものだと思っています。ただ、その事務作業のどこまでを事務局にもお手伝いいただけるかは、事務局と話すべきだと思いますけれども、基本の姿勢としては、議会、この委員会が自主的に作成するという方針は、やっぱりとるべきだろうと思えます。

**川原慎一委員長**

ありがとうございます。

ほかは。作成してる提案の案では、事務局にやってもらうのは表決のみです。

〔「何」と呼ぶ者あり〕

表決のみ。

〔「どこ、資料のどっかを見ればいい」と呼ぶ者あり〕

〔「どっかあります。すいません」と呼ぶ者あり〕

議会だより作成基準。

〔「101」と呼ぶ者あり〕

こういった形でやっていきたい、やっていく話があるんだがということで議長にお話をしております。議長からは、発行責任者を自分にしてくれということでございました。

〔発言する者あり〕

それで了解というか、これから話し合っ、変えていこうと。これからはもう変更、いろいろ変えていこうという段階に来てますと。もうそういう、それはそれでいいんだけどって、発行責任者はもう今まで議長じゃないのはおかしいから、そこは私でやらしてくれ、ということでございました。

委員長としてやるのは編集長と。

〔発言する者あり〕

ちょっと説明聞いてくださいね。

全部なんですけど、やり方としては、表紙はもちろん、今までどおり表紙と編集後記、これは広報広聴委員で回り番で回していきたいと考えております。

全ページの共通という部分で、原稿作成から第5項までの修正を経て作っていくんですけども、それぞれに原稿を頂く。そして、それを編集委員、広報広聴委員会のそれぞれの担当で記事を作っていく。その作ったものを私が見て、編集させていただき、議長にチェックをもらい、議長からまた返ってきたものを委員会でもう1回、これで返ってきましたよということで、委員会で話し合っ、修正がある部分に関しては、議長からここを修正してくれというところがあるようなことがあれば、そこも修正して、最終的には全議員に確認をしてもらって発行という形ということで考えております。

そして、原稿作成者も先ほど言ったように、編集担当委員、これはもう別にしますね、原稿作成者と。一般質問に関しては、重なる部分は出てくると思いますけども、各ページの末尾に原稿作成議員の氏名、そして、編集担当委員氏名は記載するようにしたいと考えております。

それによって、それぞれの責任が出るでしょうし、表紙は先ほど申したとおりで、定例会、臨時会の総括については、広報広聴委員で輪番で原稿を作成していただく。委員会としては、委員会は担当委員長が原稿を作っただいて、原則として写真またはイラストを半ページ当たり1枚は使用していただい、作っただいということ。

討論も今までは事務局が作成してございましたけども、討論者本人が原稿を作成する。そして、賛否の別及び氏名を除いて200字程度に抑えられたらなというふうに考えております。

表決は、先ほど申したように事務局で作ってもらいます。

一般質問なんですけど、文字数は、517字以内にしていただきたい。写真または依頼のイラストは2段目とキャプションを含んで作成する。問い、答えは必ず、最初のところです、一般質問のところ、中12文字以内にするっていうこと。上記以外、別紙っていうのは、102に、一般質問のところ、102、一応こういって形っていうことを作っしております。

今回、タイムスケジュールはかなりタイトです。

かつ、所管事務調査が、議運が1回、産業厚生委員会が2回、総務文教が1回してありますので、それも載せる。

そして、議員と語る会も掲載しなければいけないですので、今16ページ、今までずっとやってきましたけど、20ページは必要じゃないかなあとも考えております。記事が多い上に、日程もかなりタイトになるので、4月は結構、委員会としては忙しくなるのかなとは

思いますね。

〔「頑張りましょう」と呼ぶ者あり〕

**白石純一委員**

今の件で、まず作成基準の9番。文字数517文字以内って、今まで何文字でしたっけ。

〔「今までと一緒」と呼ぶ者あり〕

今までも一緒。はい、分かりました。

依頼、イラストって何。写真またはイラスト依頼って。

**川原慎一委員長**

今まで入れていた写真のことです。それを前回2段目で小さくする人と、もうイラスト。

**白石純一委員**

必ず2段。はい、分かりました。

問い、答え、一般質問の問い、答えは10文字22文字、今まで13じゃなかった。

**川原慎一委員長**

13でしたね。

**白石純一委員**

12にするっちゆうこと。

**川原慎一委員長**

「。」を入れて。

**白石純一委員**

「。」は数えてない、入れてない。

**川原慎一委員長**

13でもいい。入って12。

**白石純一委員**

今まで13で結構みんな苦勞されてるような、13でも苦勞されてるような感じだったから、12にしたらもっと苦勞されるのかなと。

**竹原信一委員**

この文字数についてですよ、それからイラストについてもこの自由度を上げましょうよ、もうちょっとみんなそれぞれが1マスでしょ。段数は3段だっけ、中で、それぞれのちゃんと。

**川原慎一委員長**

休憩しますね。

(休憩 午前11時51分～午後0時38分)

**川原慎一委員長**

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

まず、発行責任者に関しては議長ということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

はい。

編集長は広報広聴委員長で、作成方法は基本案のとおりでやっていくということです。一般質問に関しても517文字のレイアウトで作っていただくということです。

今回からは、討論をされた方が原稿を作ってください。

委員会報告は、今までどおり委員長にその用紙で作っていただくということになります。一般質問は、先ほど言ったとおり517文字の写真の位置等々も含めて、レイアウトどおりで作っていただくということです。

表決に関しては、事務局が作っていただく。

台割に関してですが、表紙に関しては、高崎委員に作成、写真を含め。編集は私がいたします。

それ以外については、総括はそれぞれ5人でしていただく。編集も5人でしていただく。

委員会は、委員長の、例えば白石委員は、予算委員長でございますので、予算委員会に関しては、原稿作成者は白石副委員長。編集はそれ以外の4名でしていただく。

総務、産業厚生、総務文教委員会と産業厚生委員会の委員会報告に関しては、それぞれの委員長に作っていただき、編集は5人でしていただく。

討論については、それぞれの討論者本人に原稿を作成していただきます。そして、編集に関しては5人でやっていただきます。

表決は、事務局で、この辺、ここの編集は、5人で見ていただけたらそんなにはないと思いますので、5人に見ていただけたらと思います。

一般質問です。原稿はそれぞれに、一般質問した方々に作っていただく。

そして、編集は、今回は全員やっていっちゃいますので、それ以外を、自分以外のものに対して、自分のものは編集には入らずに、ほかの方の編集に入ってくださいということでもよろしいでしょうか。

今回のをやってみて、その仕事量をしっかり確認していただいて、次の定例会の議会だよりからは、ここで人数を絞れるようであれば絞って行って、もっと役割をですね、改善していけたらというふうに考えております。

お知らせは、竹原委員で原稿作成。編集後記は、川畑委員に原稿作成していただいて編集は他の4人でやっていただく。

最終的なものを私がチェック、編集させていただいて、それを議長に届けて、議長のチェックが終わって、もう1回委員会で、議長からチェックといいますか、改善があればそこを修正し、良ければ全員に確認してもらって発行という形になってまいりますので、よろしくをお願いします。

今回は、とにかく試験的に、大分いろいろ御苦勞はもうあると思いますけど、よろしく。

〔発言する者あり〕

それでは、広報広聴委員会を。

〔発言する者あり〕

それでは、この基準案で今回行っていくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ありがとうございます。

異議ございませんので、そのように決しました。

それでは、次の開催。

〔発言する者あり〕

次はまだ分からないですね。取りあえず。

〔発言する者あり〕

取りあえず今までの目通してください。

それで、自分が編集するとしたらってなったときのことを考えていただいでいくしかないかな。

〔高崎良二委員「その編集作業はここに集まってしても」と呼ぶ〕

結構ですよ。そこは、もうそれで語るようにしましょう。

それでは、広報広聴委員会を散会します。

(散会 午後0時44分)

広報広聴委員会委員長 川原 慎一